



# にじのはし幼稚園 園だより

平成27年 10月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 新井智子



## 地域の中で

園長 新井智子

コスモスが秋風に揺れる心地よい季節になりました。子どもたちが毎日水やりをしていた稲穂もサツマイモももうすぐ収穫の時を迎えます。

先日は、雨上がりの気持ちの良い天気の下、「かまどの会」がありました。にじのはし幼稚園の伝統行事で、父親を中心に子どもたちと一緒に園庭のかまどに火入れをし、大なべに具だくさんの味噌汁を調理しました。幼稚園の教育への理解と、子どもや他の保護者との親睦を図ることが目的ですが、かまどを囲んで、和気あいあいと保護者同士が井戸端会議をすることが楽しみの一つになっています。当日、時間がなく十分な井戸端会議ができず申し訳なかったのですが、保育の中で垣間見る保護者同士の笑顔や弾んでいる会話から、参観や子どもたちとの関わりを十分楽しんでいただけたのではないかと思います。幼稚園の中で、保護者が子どもに教えながらいきいきと調理したり、遊んだりする姿は、子どもたちにいろいろな思いを伝えます。大人の中で守られ大切にされていること、大人が温かく見守る幼稚園が子どもにとって幸せな場であることを感じとるのです。かまどの会へのご協力、参観ありがとうございました。

さて、夏から初秋にかけて地域でもレインボー公園の夏祭り、海浜公園で行われたボートレースなどイベントがありました。お台場夏祭りは、地域主催の大変にぎやかなお祭りです。子どもからお年寄りまで舞台上で日頃の活動の発表をしたりゲームを楽しんだりしました。まるで家族が一堂にレインボー公園というリビングに会して飲食しおしゃべりをしているようでした。お店の人もお客さんもみな顔見知りで和やかで楽しげでした。地域の皆様は、子どもたちにも優しく声をかけてくださり、ゲームやスイカなども提供してくださいました。子どもたちは、こうしてまだ若い歴史の地域の中で皆さんのつながりやお力添えで温かな人間関係をはぐくみ、人への信頼を感じ取っていくのです。そして、子どもたち自身もやがて地域の一員として社会貢献していくことを願います。

しかし、地域の役目は、楽しい場の提供だけではありません。人とのつながりの中で、災害への対応、安全なまちづくりへの意識を高めていくことも大切です。10月3日は地域防災訓練があります。東日本大震災の教訓から、私たちは災害に対する意識が高くなりました。しかし、時の経過に伴い少しずつ薄らいでいくことがあります。年に一度、ぜひ地域の訓練に参加し、防災について「知る・構えをもつ・備える」の機会にしていましょ。

### 楽しい「かまどの会」

